

## 鬼餅由来

### 島袋利蔵 (1893・M26) 字古堅 (01:49)

あれー、ある島尻方面いえりん南方やてーるばー  
てーや。あんやしが、なー昔、前代ぬ事やくと  
う。あぬらーヨウナイウィキー居とーしがなー、ヨウ  
ナイや別んかい夫持ち他島んかい行ぢよーんて  
ーや。うぬウィキーぐわーや、なー鬼なていよー。初  
めー墓からすんち出じやち、人るあさてい喰いたし  
が、後なー、うりん居らんない、喰らんないれ  
ーから、自分ぬ女ぬ親までいん喰ていよ。あんし、  
そー鬼なとーたんでいよ。

あんし、村ぬー近所ぬ「くれーかんかんやしがや  
ー、くれヨウナイ添てい来い解決しみれーならん」  
ち、ヨウナイが連絡さーにやー、あんさーにさくとう  
なー、「あんあんやん」ち、し、さくとう。

あんさーにうぬヨウナイや考ていやー、家んじ、  
またムーチーりし仕度ていやー、あんさ、うり持ち  
行ぢ、「とー、今日や私がムーチーだてーん仕度てい  
ちえー来くとう食まさやー」んち、自分ぬウィキーぬ家ん  
かい行ぢやー。あんさーに崖、此处あ切り崖あ、  
崖前なちよ、「とー、其処んかい座れー、私がムー  
チー食ますくとう」んちムーチー食まち。あんさーに、  
食むるうりとー隙見じやーに崖んかい押し落とう  
ちやぐとう、うぬ鬼え其処んじ死じ、なーなとーんで  
いるふーじーやさ。

あんさーに、うりから次第次第に此処んかい寄てい  
ちやー来にやー。私たんでん小さいねー、家ぬ雨垂いん  
でんかいウナムーチーんちよー、ムーチー食れー  
るうぬカーサ作やーに其処んかい、鬼ぬ喰んが来  
ぐとう、雨垂いんかい下んかい下ぎてい。うぬふ  
ーじーし今ちきてい伝説お有るばーよー。

### 【共通語訳】

あれはね、沖縄の南部あたりの話だったわけさ。も  
う昔、だいぶ前のことだからね。そこにヨウナイウィ  
キーの兄妹がいたそうだが、妹は別の村へ嫁いでいた  
ようだね。その兄はもう鬼になってしまって、墓から  
死体を引きずり出して喰っていたようだ。しまい  
には、自分の母親までも喰うようになって、まさしく鬼  
になっていたんだって。

それで、村の人たちが「これは妹に知らせてなんと  
か解決させなければならぬ」と、妹にそのことを話  
したわけさ。

それを聞いた妹は、ムーチー（餅）をこしらえて、  
鬼になっているという兄の所へ行った。「さあ、今日  
は私がムーチーをたくさん作ってきたから御馳走し  
ようね」と崖の方へと誘った。「さあ、そこに座って、  
ムーチーをあげるから」と、切り立った崖を背にして  
ムーチーを食べさせた。そして、餅を食べている隙を  
見計らい、崖から突き落とし退治したということだ  
よ。

そんな話が次第にこちらの方にも伝わってきてね。  
私らが子どものとき、餅を包んでいたカーサ（月桃の  
葉）二枚を十字に結んで、鬼が来ないように家の軒下  
に吊るした。それをウナムーチーといったよ。そう  
いう伝説が今でもあるわけだ。